

原 著

看護のアイデンティティー、その 7: 看護の アイデンティティーの自覚度を測定する簡易な質問表

工藤 二郎* 小田 日出子* 窪田 恵子* 中馬 成子**

<要 旨>

看護職のアイデンティティーを明確にして看護学生を教育することは、看護大学が充実した教育を行なうために重要な課題である。これにより学生は看護職に対するアイデアを尽きること無く刺激され、また、卒業後も専門家として臨床の場で勇気づけられて義務の達成が容易なものとなるであろう。大学教育に役立てるため、我々はこれまでに看護のアイデンティティーに関するキーワードを選び、看護職の資質、個人的行動、看護職に重要な社会生活、看護技術、倫理の5つの範疇の152のキーワードについて看護師と学生の価値観の差について報告してきた。この報告では、これまで得られた結果を集約し、看護学生および看護師が看護のアイデンティティーの確立の度合いを測定可能な簡易な質問表の作成を試みた。質問表は看護職に重要と思われる5カテゴリーで91のキーワードを選択し、その中から重要と思われるものを約半数の47個選ぶように作成した。各キーワードは看護師が重要とした度合いによる配点が決まっており、計算上の最高点は168.43点、最低点は82.02である。アンケートを取った場合、各個人の得点はこれらの中間の値をとる。この質問表により、看護学生あるいは看護師の看護職に対するアイデンティティーの確立度を客観的に判定可能となると期待される。

キーワード：アイデンティティー、看護、看護教育、看護大学生、質問表

はじめに

看護職のアイデンティティーを明確にして看護学生を教育することは、看護大学が充実した教育を行なうために重要な課題である。これを示すことにより学生は看護についてのアイデアを無限に刺激され、職業を得た後も臨床の場で勇気づけられ、また、持続した職務遂行が可能となるであろう。このような考えから我々はこの研究を企画した。我々はまず、生活歴と教育の背景が比較的一致した学生と看護師の二集団において、看護職がどのように理解されているかを比較することから開始した。本学で半年学習した学生と、本学を卒業し臨床の場で活動している2～3年目の看護師の各集団は、価値観の変化が比較しやすいと考えた。さらにその変化をみることにより、臨床経験によって獲得される高次の価値観を学生に知らせ、考察させることも可能となると考えた。

第1報から第6報により、我々は看護に関するキーワードの選択と質問表の作成に始まり、看護師として

の資質や個人的行動、社会的行動、看護技術、看護倫理の5カテゴリーについて学生と看護師の間の重要度の差を報告した¹⁾⁶⁾。この操作により、各範疇より看護職に重要と考えられる、おそらく真性のキーワードが選択されてきた。このようにキーワードを操作しながら看護の現実近づき、それを教育に役だてようとする研究は少なく、教育現場に生かされた例は調べ得た限りでは無い。しかし、Watson⁷⁾⁹⁾らの研究は、看護学生に対し、ケアリングの認識をどの程度、また、どのような過程で学んでいくかを調査票によって測定しようとする試みで極めて興味深い。最近、同様な方法で八尋¹⁰⁾は各学年の看護学生の価値観を、倫理特性とケアリングのとらえ方から検討し報告した。彼女は、「倫理特性調査票」と「ケアリングのとらえ方調査票」の質問票で学年間の変化を計測し、学年が進むにつれ有意差の見られる倫理特性の因子やケアリングのとらえ方があることを報告している。我々の研究は上記の各研究とは目的と方法が異なっている。すなわち、本学の看護学生と本学卒業の看護師という関連の

* 西南女学院大学保健福祉学部看護学科 教授

** 順心会看護医療大学 助教授

強い2集団を対象とし、この2つの集団間の変化を比較し、看護職の本質を探りながら学生の教育に役立てようとしている。

過去6報により、懸案であった各カテゴリー内での項目数の減少が可能となった。従って少数項目による簡易な質問表の作成も可能となった。質問表の作成にはいくつかの重要な視点が考えられる。第1にはアイデンティティーの確立度の自己評価のためのもの、第2には学生指導のためのもの、第3には本学の看護教育のカリキュラムを考えて行くための指標とするものなどである。

この第7の報告では、当初抽出された152キーワードの中から、看護職のアイデンティティーに密接に関係すると考えられるキーワード91個を選び、第1の視点を主とする簡易な質問表を作成する。この質問表により、学生や看護師の看護職のアイデンティティーの確立の度合いが計算でき、また看護職者として未熟な部分が判定できると期待される

方法

1) キーワードの抽出

全キーワードの最初の抽出は看護学科1年生と編入生の書いた小論文より行った。彼女達が医療概論の受講後、課したレポートの題は「医療や看護を担う看護師、保健師、養護教諭として心がけるマナーにはどのようなものがありますか。また、それはなぜ重要と思いますか。」であった。レポートの提出は76で、看護師として書かれたレポートは71であり、5人が養護教諭として書かれていた。当初のキーワード抽出は看護師として書かれた71レポートより行った。これらのレポートより抽出した152キーワードは、1) 個人的資質、2) 看護職に望まれる態度・行動、または個人的な行動パターン、3) 他者と良い関係を築く上で必要な態度・行動、または社会的な行動パターン、4) 専門的な看護技術、5) 専門倫理的な態度・行動、または職業倫理の5つに区分された¹⁾。アンケートは本学の卒後1年目の看護師59名、卒後2年目の看護師58名、卒後3年目の看護師63名に送られ、また、本学入学後4ヶ月目の看護学科1年生99名にも依頼した。

2) 各キーワードの重み付け

5つのカテゴリーの各キーワードを重要と思われる

順番に10個選んでもらい、学生や看護師が最も重要と考える概念に10点を与え、2番目に重要と考える概念に9点を与え、順次点数を下げていく方法である。これは重み付けにより、各概念の得点を強調し、真性のキーワードを抽出しやすくするための操作である。通常、よく用いられる質問表は5段階(5-point Likert scale)で判断されるが、見方を変えるとこの過程で10段階の重み付けがなされていることになる。

3) 各キーワードの得点の集計

アンケートでの各キーワードの得点データを看護師または学生の2種類にデータベース化し、学生集団での各キーワードの平均得点と、看護師集団の各キーワードの平均得点を求めた。これらの平均得点は各カテゴリーの「看護師指数」と「学生指数」と名付けられた。これらの操作には表計算のコンピューター・ソフトを用いた。

4) 看護職のアイデンティティー確立度の自己評価のための質問表の作成

3)の操作で選び出された5カテゴリー中の各キーワードは、看護師の指数を優先に降順に並べ替えられ、得点が1を越えるものが抽出され、質問表が作成された。最終の質問表には各キーワードの点数は明示されない。

結果

1) アンケート回答数

1年を超えて看護経験のある看護師、すなわち2年目または3年目の看護師による回答は36通であった。就職1年目の看護師からの回答は30通であった。しかし彼女たちは、看護経験がまだ4カ月目であったため結果には含めなかった。この30通の回答は、学生から看護師への過渡期の分析に有用である。一方、本学看護学科1年生からの回答は22通であった。この中には看護職の経験のある学生はいなかった。回答は少数ではあるが、新しいキーワードを加えるなど深く考察している所見はあった。

2) 各キーワードの学生と看護師からの得点と平均値

表1は第1カテゴリーの22キーワードの学生指数と看護師指数を示している。他の4カテゴリーも同様

表 1. カテゴリー1の看護の資質に関する22キーワードの得点表

キーワード内容	学生資質指数	看護師資質指数	資質変化指数
1 一般常識を身につける	4.32	4.14	0.96
2 誠実	2	3.19	1.6
3 注意深い	4.18	2.69	0.64
4 ほがらか	2.36	1.81	0.77
5 慎重	4.73	2.58	0.55
6 清潔	3.73	1.36	0.36
7 心の安静	2	3.08	1.54
8 強い意志・意欲	3.05	2.53	0.83
9 注意を集中させる	3	2.69	0.9
10 優しさ	3.95	4.44	1.12
11 辛抱強い	2.09	1.89	0.9
12 自信	0.5	1.64	3.28
13 自己省察	0.41	2.44	5.95
14 余裕	1.27	1.72	1.35
15 着実	0.45	1.58	3.51
16 仕事の総体を理解する	3.59	2.25	0.63
17 自らの役割を理解する	2.23	4.5	2.01
18 品位	0.45	0.36	0.8
19 教養	1.91	1.81	0.95
20 愛する心	1.64	1.25	0.76
21 変化の豊かさをもつ	1.5	0.69	0.46
22 最善を尽くす気持ち（献身性）	5.41	4.47	0.83

の操作を行なって表としたがそれらについては既報告³⁾⁶⁾を参照して頂きたい。表の資質変化指数は看護師指数を学生指数で除したもので看護師になると価値観が上昇するものである。

3) 重要なキーワードの抽出と質問表の作成

上記の表1を操作し、看護師の指数を優先に降順に並べ替えたものを表2に示す。これによると看護師としての資質として「自らの役割の理解」最上位となった。他のカテゴリーでは、看護師としての個人的行動として「正確な情報を得る」が、看護師としての社会的行動として「責任をもつ」が、看護師としての技術として「患者を観察する」が、看護師としての倫理として「患者の立場に立つ」がそれぞれ最上位となった。

表2より得点が1を越えるものを抽出し、看護師による配点を残しておくとして表3のようになる。次にランダムに並べ替えると表4のようになる。これがカテゴリー1の看護職者の資質についての質問表である。このカテゴリーのキーワードの数は選択されて20に選ばれた。カテゴリー2、3、4、5、を同様の操作で質問表とすることができ、各カテゴリー内のキー

ワードの数はそれぞれ27から16に、36から19に、24から17に、44から19に減少した。こうして当初の152から91まで減少されたキーワードによって作成された質問表を表5に示す。

4) 質問表の採点

表4、すなわち第1カテゴリーの質問には各キーワードに点数がついている。アンケートでは各キーワードの半数を選んでもらうとすると、表4のキーワード数は20であるため、10個選ばれる。表3より、もし高配点のものを上位から10個選択すると34.31点となり、もし低得点のものを下位から10個選べば17.75点となるため、個人による第一カテゴリーでの獲得点数のはこれらの間の値となる。5カテゴリーの表の全てを出すのはあまりに多数なため、同様の計算を第2カテゴリーから第5カテゴリーまでに行なった結果のみを記載する。第2カテゴリーでの最高点は33.61、最低点は16.93、第3カテゴリーはキーワードが19個であるが半数+1の10個づつを選ぶとすると最高点は34.33、最低点は16.94となり、第4カテゴリーは同様に35.50と16.65、第

看護のアイデンティティー、その7

表2. 看護師から高得点を得たキーワードを上位から並べた表

番号	キーワード内容	学生資質指数	看護師資質指数	資質変化指数
17	自らの役割を理解する	2.23	4.5	2.01
22	最善を尽くす気持ち（献身性）	5.41	4.47	0.83
10	優しさ	3.95	4.44	1.12
1	一般常識を身につける	4.32	4.14	0.96
2	誠実	2	3.19	1.6
7	心の安静	2	3.08	1.54
3	注意深い	4.18	2.69	0.64
9	注意を集中させる	3	2.69	0.9
5	慎重	4.73	2.58	0.55
8	強い意志・意欲	3.05	2.53	0.83
13	自己省察	0.41	2.44	5.95
16	仕事の総体を理解する	3.59	2.25	0.63
11	辛抱強い	2.09	1.89	0.9
4	ほがらか	2.36	1.81	0.77
19	教養	1.91	1.81	0.95
14	余裕	1.27	1.72	1.35
12	自信	0.5	1.64	3.28
15	着実	0.45	1.58	3.51
6	清潔	3.73	1.36	0.36
20	愛する心	1.64	1.25	0.76
21	変化の豊かさをもつ	1.5	0.69	0.46
18	品位	0.45	0.36	0.8

表3. 指数が1以上の20キーワードを選択し、看護師得点を配した表

仮番号	キーワード内容	看護師資質指数
1	自らの役割を理解する	4.5
2	最善を尽くす気持ち（献身性）	4.47
3	優しさ	4.44
4	一般常識を身につける	4.14
5	誠実	3.19
6	心の安静	3.08
7	注意深い	2.69
8	注意を集中させる	2.69
9	慎重	2.58
10	強い意志・意欲	2.53
11	自己省察	2.44
12	仕事の総体を理解する	2.25
13	辛抱強い	1.89
14	ほがらか	1.81
15	教養	1.81
16	余裕	1.72
17	自信	1.64
18	着実	1.58
19	清潔	1.36
20	愛する心	1.25

表 4. 20 キーワードをランダムに並べ、新しい番号をつけた表

新番号	キーワード内容	看護師資質指数
1	自己省察	2.44
2	着実	1.58
3	自信	1.64
4	自らの役割を理解する	4.5
5	誠実	3.19
6	心の安静	3.08
7	余裕	1.72
8	優しさ	4.44
9	一般常識を身につける	4.14
10	教養	1.81
11	注意を集中させる	2.69
12	辛抱強い	1.89
13	最善を尽くす気持ち（献身性）	4.47
14	強い意志・意欲	2.53
15	ほがらか	1.81
16	愛する心	1.25
17	注意深い	2.69
18	仕事の総体を理解する	2.25
19	慎重	2.58
20	清潔	1.36

5 カテゴリーは最高 30.68、最低点 13.75 となる。

これらをすべて加えると第 1 カテゴリーから第 5 カテゴリーのアンケート回答の最高点は 168.43 点、最低点は 82.02 であり、アンケートをとった場合、各個人の獲得点はこれらの中間の値をとる。もし学生のアイデンティティーの確立度、が経験 2-3 年の看護師に近い程度に高い場合は 168 点近くになり、確立度が低い場合は 82 点近くの低い値となることになる。このように、得られたアンケートの回答によって、どの部分がその学生にとって欠点であるのかを判断できることになる。

考察

一連のこの研究では、第 1 報でのキーワードの選出が適正であったかどうかの不安があった。しかしながら各カテゴリーの分析を行なうごとにそれらの選出が適正であったと確信を深めることができ、第 2 報から第 5 報の結果の部分にその都度記載してきた。おそらく当初抽出された 152 キーワードは看護のアイデンティティーを代表するものと考えられる。5 カテゴリーの中の最高得点のものも全てが明らかになりここに列挙することができる。それらは、看護師の資質と

して「自らの役割の理解」、看護師の個人的行動として「正確な情報を得る」、看護師の社会的行動として「責任をもつ」、看護師の技術として「患者を観察する」、看護師の倫理として「患者の立場に立つ」が最高の価値をもつものであった。これらは看護のアイデンティティーの核をなす価値観と考えられる。

この報告で 152 のキーワードは 91 までに減少され、アンケート回答がかなり簡便となった。この減数も当初からの懸案であった。減数の根拠に各キーワードの得点があり、この得点が作成した新たな質問表での配点となる。もし高得点のキーワード全てを選択した場合の最高点は 168.43 点、最低点は 82.02 である。このように、この質問表は各キーワードの配点が可能となっており、アンケートに回答を得られれば、その人の配点が求められる。

これまでの研究の分析から、おそらく学生達の得点分布は少得点の領域にピークがあり、看護師達の得点分布は高得点の領域にピークが現れると予想される。回答後に個人が各キーワードの配点をチェックしその意味を考察すれば看護職に関する自己分析が可能となるであろう。もし仮に、この簡易な質問表を用いて我々が第 2 報から第 6 報まで行なって来た分析を再度行なえば、回答者は格段に短時間で回答でき、その分析も

看護のアイデンティティー、その7

表 5. 5 カテゴリー全てに表 1-4 の操作をして作成した質問表

I. 看護の資質項目：10個選択

1. 自己省察
2. 着実
3. 自信
4. 自らの役割を理解する
5. 誠実
6. 心の安静
7. 余裕
8. 優しさ
9. 一般常識を身につける
10. 教養
11. 注意を集中させる
12. 辛抱強い
13. 最善を尽す（献身性）
14. 強い意志
15. ほがらか
16. 愛する心
17. 注意深い
18. 仕事の総体を理解する
19. 慎重
20. 清潔

II. 看護行動パターン：8個選択

1. きびきびした動作
2. 自分の健康管理
3. 明るい表情
4. 手順良い仕事
5. 笑顔
6. プロ意識をもつ
7. 確認する
8. 継続的学習
9. きちんとした姿勢
10. 正しい予測をもち行動する
11. 最新情報に関心をもつ
12. 物事に取り組む姿勢
13. 正確な情報を得る
14. 良い友人を持つ
15. 自己研鑽
16. 科学的態度

III. 看護社会生活項目：10個選択

1. 他職種との連携
2. 相手の人格尊重
3. 組織の一員の自覚
4. 約束を守る
5. 責任をもつ
6. 話を良く聞く
7. 臨機応変に対処する
8. 職場での良き人間関係
9. 不明点を質問する
10. 協力して仕事をする
11. 信頼感を築く
12. 挨拶をする
13. 心を込める
14. 言葉遣い（敬語丁寧語）
15. 相手を理解共感する
16. 周囲状況の正しい判断
17. 心くばりする
18. 礼儀
19. 時間を守る

IV. 看護技術項目：9個選択

1. 感染予防
2. 医療ミスをしない
3. 患者を（こまやかに）観察
4. 患者の名前を覚える
5. 患者関係の会話を大声でしない
6. スキンシップを用いる
7. 処置中の羞恥心の尊重
8. 環境整備（騒音、温度、光）
9. ボディメカニクスを利用する
10. 椅子にすわって話す（目の高さ）
11. ナースコールに応える
12. 患者を見て（目を見て）話す
13. 対話する
14. 患者に理解できる言葉の使用
15. 了解なしの行為をしない
16. 患者第一業務進行は第二に
17. 疼痛を緩和する

V. 看護倫理項目：10個選択

1. 生命の尊重
2. 患者の心に目を向ける
3. 患者の病状を把握する
4. 患者自立（自己管理）援助
5. 人権尊重または差別しない
6. 守秘する
7. 技術の向上を図る
8. 安らぎ（安楽）の提供
9. 患者との良き人間関係をつくる
10. 患者の立場にたつ
11. 丁寧（温かい）ケア
12. 安心を与える（不安を軽減）
13. 誠意をもって接する
14. 専門知識を増す
15. 感情や話を受け止める
16. ニーズの把握と正確な対応
17. 個々の患者に合わせた対応
18. 自尊心（羞恥心）の尊重
19. 謙虚に患者に接する

容易であろう。

この報告では看護のアイデンティティーの確立度の自己評価のための質問表を公表した。今後、これを用いた学生と看護師へのアンケート発送と分析が可能である。さらに将来、学生指導を主目的とするもの、大学の看護教育のカリキュラムを考えて行くための指標となるものなどの表の作成も可能であろう。それらの有用性をさらに検討し、看護教育に役立てる予定である。

謝辞

この研究は、2000年度西南女学院大学共同研究費「西南女学院大学保健福祉学部看護学科卒業生の実態調査」の助成の一部を受け始められた。

文献

- 1) 工藤 二郎、小田日出子、窪田恵子：看護のアイデンティティー：看護大学生は看護職をどのようにとらえているか。西南女学院大学紀要。5: 1-8, 2001
- 2) 工藤二郎、小田日出子、窪田恵子、中馬成子：看護のアイデンティティー、その2：看護の資質についての大学生から看護婦への価値観の相違とその意味。西南女学院大学紀要。6: 10-17, 2002
- 3) 工藤二郎、小田日出子、窪田恵子、中馬成子：看護のアイデンティティー、その3：看護の行動パターンについての大学生から看護婦への価値観の相違とその意味。西南女学院大学紀要。7: 19-26, 2003
- 4) 工藤二郎、小田日出子、窪田恵子、中馬成子：看護のアイデンティティー、その4：看護職に重要な社会生活パターンについての大学生と看護師の価値観の相違とその意味。西南女学院大学紀要。8:1-8, 2004
- 5) 工藤二郎、小田日出子、窪田恵子、中馬成子：看護のアイデンティティー、その5：看護技術に関する大学生と看護師の価値観の相違とその意味。西南女学院大学紀要。9: 1-8, 2005
- 6) 工藤二郎、小田日出子、窪田恵子、中馬成子：看護のアイデンティティー、その6：看護倫理に関する大学生と看護師の価値観の相違とその意味。西南女学院大学紀要。10: 1-9, 2006
- 7) Watson R and Lea A: The caring dimensions inventory (CDI); content validity, reliability and scaling. J Adv Nurs. 25: 87-94,1997
- 8) Watson R, Deary IJ, Lea A: A longitudinal study into the perceptions of caring and nursing among student nurses. J Adv Nurs. 29: 1228-1237, 1999
- 9) Watson R, Deary IJ, Hoogbruin AL: A 35-item version of the caring dimension inventory (CDI-35); multivariate analysis and application to a longitudinal study involving student nurses. Int J Nurs Studies. 38: 511-521, 2001
- 10) 八尋道子：倫理特性とケアリングのとらえ方から見た看護学生の価値観について。長野県看護大学大学院看護学研究科、看護学修士論文。1-49,2004

Identity of Nursing (Part 7): Concise Table of Questionnaires to Measuring Students' Perception of Nursing

Jiro Kudo*, Hideko Oda*, Keiko Kubota*, Nariko Chuman**

<Abstract>

It is an important assignment for the Japanese student nurses to establish a nursing identity. Students can be stimulated by a fertile source of ideas and be encouraged in the clinical field to accomplish their duties after graduation with a clear nursing identity.

We previously showed the difference in estimation of 152 key words in five categories, endowments, personal behavior, social life, nursing techniques and nursing ethics concerning nursing identity between students and nurses.

We show here a concise questionnaire table to measure students' perception of the nursing identity based on the point of each keyword according to the nurse's estimation. In the questionnaire, forty-seven out of 91 keywords in 5 categories must be selected by a student and will be scored with each point allotted to each key word. The calculated highest point was 168.43, the lowest was 82.02, respectively. So, the points obtained by individuals will be between these numbers. This questionnaire has the potential to measure the perceptions of the nursing identity among both nurses and student nurses.

Key words: identity, nursing , nursing education, student nurses, questionnaire table

* Professor in the Department of Nursing, Faculty of Health and Welfare, Seinan Jo Gakuin University

** Associate Professor in Junshin-kai University of Nursing and Health Science.